

人材養成目的

社会人を主たる対象にして、社会やビジネスで求められる高度専門職業人として必要な深い学識と卓越した能力を持ち、現代社会や組織が直面する諸課題の背景を探求し、かつ実効性の高い解決策を策定・実行することによって、社会の持続可能な発展に寄与しうる高度専門職業人を養成する。

	研究群コンピテンス	評価の観点	対応する主な学修
修士	1. 研究力：ビジネス科学分野における研究課題設定と研究計画を遂行するための基礎的な知識と能力	職業生活において得た知識や経験を体系化して、現代社会におけるさまざまな課題を新たな視点から再構築できる研究力を有するか。	経営基礎、会計基礎、コーポレートガバナンス、コーポレート・ファイナンス、企業法学特別研究I～VI、法文献学、論文発表会、学会発表
	2. 専門知識：ビジネス科学分野における高度な専門知識と運用能力	職業生活において得た知識や経験を体系化して、現代社会におけるさまざまな課題を新たな視点から再構築できる専門知識と運用能力を有するか。	民事法研究I～II、商事法研究I～II、租税法研究I～II、労働判例研究I～II、論文発表会、学会発表
	3. 倫理観：ビジネス科学分野の基礎的研究能力を有する人材または高度専門職業人にふさわしい倫理観と倫理的知識	ビジネス科学分野の研究者または高度専門職業人としてふさわしい倫理的知識を修得し、倫理観として体得しているか。	コーポレートガバナンス、コーポレート・ファイナンス、企業法学特別研究I～VI、法文献学、論文発表会、学会発表
博士	1. 研究力：ビジネス科学分野における最新の専門知識に基づいて先端的な研究課題を設定し、自立して研究計画を遂行できる能力	企業や社会が直面する新たな類型の問題の認識、分析、解決策の策定等を自立して創造的に行い得る研究力を有するか。	マーケティング・サイエンス特論、経営戦略総論、財務会計特論、知能情報システム、企業法特別研究I～IX、論文発表会、学会発表
	2. 専門知識：ビジネス科学分野における先端的かつ高度な専門知識と運用能力	企業や社会が直面する課題に対して、先端的かつ高度な専門知識を用いて分析および解決策を策定する能力を有するか。	論文発表会、学会発表
	3. 倫理観：ビジネス科学分野の研究者または高度専門職業人にふさわしい倫理観と倫理的知識、および専攻する特定の分野に関する深い倫理的知識	ビジネス科学分野の研究者または高度専門職業人としてふさわしい高度な倫理的知識を修得し、倫理観として体得しているか。	ビジネスマネジメント特別演習I-I、企業法特別研究I～IX、論文発表会、学会発表